

# 第36代 駒門駐屯地司令 就任



## 広報 駒門

KOMAKADO

**発行所**  
駒門自衛隊協力会  
事務局：富士岡支所  
TEL 0550-87-0976  
裾野市自衛隊協力会  
事務局：裾野市役所  
TEL 055-995-1874

**連絡所**  
駒門駐屯地広報  
〒412-8585  
御殿場市駒門5-1  
TEL 0550-87-1212

**印刷所**  
エビスLLC  
〒412-0021  
御殿場市三枚橋312-1  
TEL 0550-70-0022



機甲教導連隊長 兼ねて  
駒門駐屯地司令

1等陸佐 **岩野 保博**

協力会や各部隊OB会等による、駒門駐屯地に対する日頃のご支援に対し、紙面をお借りして感謝申し上げます。

駒門駐屯地が開設されて六十三年、地域とともに歩む駐屯地を目指して参りましたが、戦後最も厳しいともいわれている安全保障環境に対応するため、陸上自衛隊全般の体制も変わりつつあり、駒門駐屯地の体制も往時と比べて縮小されています。これらの状況を踏まえ、新たな駐屯地広報のあり方を模索した結果、従来行っていた駐屯地夏まつりは残念ながら廃止し、よりコンパクトかつ隊員の日常の顔を理解して頂くという方針に基づいた広報を行うべく、駐屯地創立記念行事（一般開放）の魅力化、部隊見学機会の増加等に取り組んでいきたいと考えております。

駒門駐屯地の各種行事を楽しみにされていた皆様に対しては大変心苦しいお願いではありますが、何卒ご理解頂き今後とも駒門駐屯地に対するご理解を賜りますようお願い申し上げます。



着任のご挨拶  
駒門自衛隊協力会  
会長 **勝間田正司**

駒門自衛隊協力会は、地域住民と駒門駐屯地の親睦、協力、相互理解を通じ、自衛隊と地域の健全な発展に寄与することを目的として、昭和三十三年に設立されました。以来、相互交流を育んできましたが、近年のコロナ禍によりイベントが減り、交流のあり方については見直しを求められています。一方、ロシアのウクライナ侵攻を背景に自衛隊を取り巻く情勢は変化し、また、大規模災害への備えもますます重要視されるところです。当協力会は、今後、新しい形での交流を通して駐屯地と住民の繋がりを強め、自衛隊支援と地域振興に努めてまいります。



ご挨拶  
裾野市自衛隊協力会  
会長 **志村 宏之**

この度は広報「駒門」第50号発行誠におめでとうございます。

私と広報「駒門」との出会いはい平成二十六年第16号で、それから現在49号まで全部ファイルして時々見えています。当時の駐屯地司令、各部隊長、また、毎年一月に新成人を祝う会に出席させて頂き、会食した彼達彼女達も立派な中堅隊員となり活躍されていることと思います。

広報「駒門」は、裾野市自衛隊協力会・駒門自衛隊協力会の協力で発行されていると自負致しております。そして、41号からカラー印刷での発行になりました。これからも紙面の充実を図って頂き広報「駒門」の発展を心からお祈り致します。

## 駒門駐屯地 創立63周年 記念行事

令和五年四月十五日（土）、駒門駐屯地創立63周年記念行事を挙行しました。令和二年度以降、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止を余儀なくされていた一般開放を再開し、多くの来場者が駒門駐屯地を訪れた。生憎の天候となったが、午前九時の開門を心待ちにする一般来場者の姿に、ようやくコロナ禍前のような平穏な日常が訪れたことを実感した。

行事内容については、駐屯地体育館において記念式典の挙行。富士教導団本部付隊による音楽演奏を、野外において装輪車の装備品展示、模擬売店によるグッズ販売等を行った。一般来場者数については、天候による影響が、七百六十二名であった。創立64周年記念行事は晴天での挙行に期待したい。



駒門駐屯地体育館において挙行された記念式典



式典を観覧する一般来場者

式典を観覧する招待者

一堂に整列する部隊旗



駒門駐屯地敷地内において、装輪車の装備品展示及び模擬売店によるグッズ販売を行った。

駐屯地司令 感謝状 受賞者紹介

平素から国防の重要性と陸上自衛隊の使命に深いご理解を示され、防衛基盤の育成と駒門駐屯地の発展にご尽力された功績により、十一名、三社が駒門駐屯地司令より感謝状を贈呈されました。おめでとうございます。

- 令和三・四年度防衛モーター  
土屋 山香様
- 駒門自衛隊協力会会長  
鳥越 宏音様
- 裾野市自衛隊協力会副会長  
勝間田 豊様
- 機甲教導連隊OB会本管委員  
櫻井 通雄様
- 機甲教導連隊OB会監査委員  
藤原 伸一様
- 国際活動教育隊協力会会長  
辻 弘延様
- 国際活動教育隊協力会副会長  
根上 博様
- 国際活動教育隊協力会委員  
三好 俊章様
- 中井町自衛隊協力会副会長  
大原 峯路様
- 南足柄市自衛隊協力会副会長  
中村 知修様
- 真鶴町自衛隊協力会副会長  
朝倉 三天様
- 東京海上日動火災株式会社  
静岡損害サービス部
- 株式会社タクマテクノス
- 日鉄環境エネルギー  
ソリューション株式会社

# 機甲教導連隊

## 令和五年度富士総合火力演習

令和五年五月十一日（木）六個部隊の支援を受け、増強機甲教導連隊を編成完結させた。この日から五月二十七日（土）までの十七日間、令和五年度富士総合火力演習を成功させるべく、実施部隊はもとより、監視・弾薬・整備等の各種

支援も陰で力を発揮し続け、演習成功に大きく貢献した。

引き続き連隊は、連隊長（岩男一佐）を核心として、教育研究支援任務、各種事態への対処任務を完遂できるよう、突き進んでいく。



弾薬を準備する隊員ら。表舞台の活躍のためには、'彼（彼女）'達の支援があつてのことである。



駒門駐屯地グラウンドにて編成完結式が挙行された。第15即応機動連隊（香川県）、第3偵察戦闘大隊及び第10戦車大隊（滋賀県）が参加部隊として加わった。



スラローム射撃する10式戦車



監視的作業する第12偵察戦闘大隊（群馬県）及び第37普通科連隊（大阪府）の支援隊員



偵察用オートバイにより偵察活動を開始するため、多用途ヘリコプターUH-1から迅速に卸下する隊員

# 国際活動教育隊

## 創隊15周年記念行事

令和五年一月二十六日（木）、国際活動教育隊は、創隊15周年記念行事を実施した。

国際活動教育隊は平成十九年三月二十八日に創隊、令和四年三月に十五年目を迎えた。この十五年間で二千七百名を超える学生が国際活動教育隊

で学び、国内外で活躍している。

記念行事では協力会から本駒前会長、神野副会長を来賓に迎え、訓練展示を行い、その使命を再認識、士気を高揚させた。本行事を通して国際活動教育隊は志を新たに、任務にまい進していく。



式辞を述べる教育隊長



参列する隊員

# 第一高射特科大隊

## 令和四年度大隊持続走競技会

令和五年三月二日（木）及び三月三日（金）、駒門駐屯地内において、体力向上、隊員の士気の高揚及び部隊の団結の強化を図る目的として、令和四年度大隊持続走競技会を実施した。

結果は、接戦の末、本部管理中隊が見事優勝の栄誉を勝ち取った。



一斉にスタートする隊員



優勝 本部管理中隊

# 高射直接支援隊

## ゲリラコマンドウ対処訓練

高射直接支援隊は、令和五年五月九日（火）から、五月十一日（木）までの間、練馬駐屯地及び駒門駐屯地で実施された、令和五年度第一回（後）方支援連隊訓練に参加し、ゲリラコマンドウ対処に必要な基礎動作の習熟及

び練度の向上を図るとともに、被支援部隊である第一高射特科大隊の対空戦闘に必要な整備支援能力の向上を図った。



車両回収訓練中の隊員



土のうによる歩哨壕作成中の隊員

# 駒門駐屯地業務隊

## 駐屯地レクリエーション大会

令和五年一月十七日（火）から三月七日（火）までの間、令和四年度駐屯地レクリエーション大会（フリースポーツ）を実施して、部隊及び隊員相互の融和と結束、士気の高揚を図つていききたい。

大会には、駐屯七個部隊（十七個チーム、百三十六名）が参加するとともに、各部隊の支援により円滑な運営及び勝敗を決定することができた。引き続き、駐屯地隊員の服務意欲の増進に努めていく。



競技に集中し投球する隊員



表彰式にてトロフィーを授与される隊員

# 富士地域援護センター

## 任期制隊員ライフプラン教育

令和五年四月十二日（水）、任期制隊員ライフプラン集合訓練を実施して明確な自己の分析に基づいた人生設計を立案させることと、職業選択・資格取得の能力開発の自助努力を促進した。

その後、各隊員が立案した人生設計を基に本人の希望や能力に沿った適切な就職援護業務を進めていく。



ライフプランについて教育を受ける任期制隊員

## 定年退職予定者教育

令和五年四月十九日（水）、令和十年までの定年退職予定者十五名に対し教育を実施して現在の雇用情勢を把握させるとともに、退職後の生活設計及び再就職に必要な準備を推進させた。

引き続き、退職後の不安を払拭し、安心して再就職に臨めるよう隊員に寄り添った再就職の援助を実施する。



再就職及び生活設計について考察する隊員

## 令和五年度モニター紹介

- 防衛モニター（任期二年）
- 静岡県富士市 酒井 久美様
  - 静岡県御殿場市 友光 誠治様
  - 静岡県裾野市 倉澤 秀樹様

派遣海賊 対処行動支援隊  
令和五年二月十三日 帰国



2曹 清水 利憲



3曹 増田 貴子

定年退職 予定者

機甲教導連隊 准尉 柳澤 幸二（八月二日）

東部方面輸送隊 曹長 志馬 治臣（六月二十三日）

第一高射特科大隊 三佐 森 茂幸（七月二十八日）

機甲教導連隊 曹長 鈴木 隆久（七月三十日）

機甲教導連隊 一尉 森 順（八月一日）

機甲教導連隊 曹長 國井 和寿（八月二十日）

Twitter 祝 1万人突破!



フォローお願いします!

# 国際活動